

歴史まちづくりの取り組み状況について(令和4年度)

資料1

国(国土交通省・文化庁)	県	協議会・審議会等	市・市議会	具体化方策(関連事業含)	関係者協議	取り組み状況
○令和4年5月31日 令和3年度実績進捗評価シート提出(三省庁)	○令和4年4月1日 令和4年度交付申請提出(街なみ環境整備事業)	○令和4年4月1日 協議会委員委嘱(人事異動)	○令和4年5月7日 渋谷区と交流促進協定締結	○令和4年4月2日 石田ローズカフェオープン	○令和4年6月23日 まちづくり実行委員会総会開催(令和4年度事業計画協議)	○令和4年4月14日 新規職員前期研修
○令和4年7月26日 現地視察 文化庁建造物担当官	○令和4年4月1日 令和4年度交付申請提出(地域文化財総合活用推進事業)	○令和4年7月29日 大館版mobi(モビ)プロジェクト(推進協議会設立)	○令和4年6月15日 歴まち計画中間評価説明 桂城公園修景基本計画説明(建設水道常任委員会)	○令和4年6月25日～26日 文化財庭園フォーラム開催	○令和4年7月4日 どこでも博物館総会開催(令和4年度事業計画協議)	○令和4年4月15日 歴史的建造物研究成果報告
○令和4年8月30日 現地視察 整備局建政部計画管理課長	○令和4年4月22日 令和4年度事業計画説明(県都市計画課、建築住宅課)	○令和4年10月1日 大館版mobi(モビ)プロジェクト(実証運行始動)	○令和4年11月2日 寄附採納感謝状贈呈式(北鹿ささの会/標柱事業)	○令和4年6月30日 桜櫓館外構修景工事(繰越)完成	○令和4年8月12日 関係人口創出アイデア提案(相模女子大学専門職大学院)	○令和4年4月25日 北羽歴史研究会(出前講座)
○令和4年10月31日 歴まちカード贈呈式 整備局建政部都市調整官	○令和4年7月4日 令和5年度概算要望(WEB)(街なみ環境整備事業)	○令和5年2月4日 バリアフリーまちづくり推進協議会(重点整備地区特定事業計画)	○令和4年12月7日 具体化方策進捗状況説明(建設水道常任委員会)	○令和4年9月10日～11日 大館神明社例祭(余興奉納奉告祭境内で開催)	○令和4年8月30日 観光物産情報発信会議出席(令和4年度事業計画協議)	○令和4年5月24日～25日 大館一中2年生(職場体験)
○令和4年11月10日～11日 東北歴史まちづくり推進会議(多賀城市、R5年度大館市)	○令和5年1月11日 令和5年度本要望(WEB)(街なみ環境整備事業)	○令和5年3月20日 歴史的風致維持向上協議会(大館城発掘調査報告、景観計画策定について)	○令和5年3月8日 大館城堀・土塁修景計画説明(建設水道常任委員会)	○令和4年9月30日 三ノ丸地区道路美装化完成	○令和4年9月6日 東大館駅舎利活用案提言(東大館駅整備ワーキンググループ)	○令和4年5月27日 黒石市職員意見交換会
○令和5年2月6日 現地視察 整備局建政部住宅調整官		○令和5年3月23日予定 市都市計画審議会(都市公園見直し計画)		○令和4年10月5日 大館城下町名標柱12基完成	○令和4年9月13日 歴まちシンポジウム打合せ(東京理科大伊藤教授)	○令和4年5月30日 有浦小3年生(校外学習)

出前講座等の開催



令和4年5月30日
(有浦小3年生校外学習
/庁舎5階展望ロビー)



令和4年10月28日
(鉄砲場町内会敬老会
/出前講座)



令和5年2月4日
(建築士会全国大会報告会
/大館・北秋田建築士会)

具体化方策に向けた提案・提言



令和4年8月12日
(関係人口創出アイデア提案
/相模女子大学専門職大学院)



令和4年9月6日
(東大館駅舎利活用提言
/東大館駅ワーキンググループ)



令和5年2月10日
(共生社会に関する政策提言
/東北大学公共政策大学院)

具体化方策の進捗・取り組み状況等



令和4年4月2日
(石田ローズカフェオープン)



令和4年6月25日
(文化財庭園フォーラム
/保存管理技術見学会・鳥湯会館庭園)



令和4年8月8日
(ハチ公生誕100年プロジェクト始動)

○令和4年10月29日
大館城発掘調査現地説明会

○令和4年10月31日
神明町地区道路美装化完成

○令和5年1月28日～29日
全国風穴サミットin大館開催

○令和5年3月24日予定
本丸跡シロヤナギ保全・ハチ公銅像周辺修景工事完成

○令和4年9月27日,11月25日
青少年ホーム解体跡地活用会議

○令和4年10月13日
景観計画策定打合せ

○令和5年2月10日
共生社会政策提言報告書提出(東北大学公共政策大学院)

○令和5年2月17日
まちづくり実行委員会開催(前期5か年の取り組み成果)



令和4年9月10日
(大館神明社例祭余興奉納奉告祭
/約半世紀ぶりに境内で開催)

○令和4年7月22日
鱒ヶ沢町職員意見交換会

○令和4年8月1日～3日
国際情報高2年生(インターンシップ)

○令和4年8月8日～
ハチ公生誕100年プロジェクト始動

○令和4年9月24日～25日
生涯学習フェスティバル

○令和4年9月30日
地域おこし協力隊セミナー意見交換

○令和4年9月30日
桂城小5年生(ふるさと学習)

○令和4年10月3日～4日
東北職能大学校(インターンシップ)

○令和4年10月23日
鉄砲場町内会敬老会(出前講座)

○令和4年11月16日
城南小2年生(町たんけん)

○令和5年2月4日
建築士会全国大会報告会開催

おおだてじょうあと

大館城跡発掘調査の成果について

表1.中～近世の大館における浅利氏・佐竹氏に関する略年表		
	和暦	大館城関連事項
I 浅利氏の時代	永正15年～	1518～：浅利則頼(浅利勝頼の父)甲斐国から入国。十狐(独鈷)城を築き比内地域を支配
	永正15年	1518：則頼、花岡城を築く
	天文19年	1550：浅利則頼死去
	天文19年～ 天正10年	1550～：浅利勝頼、大館城を築く 1582：浅利勝頼が殺害される
II 秋田氏の時代	天正13年	1585：秋田(安東)氏側の武将、五十目兵庫が大館城代になる(所説あり)
	天正16年	1588：五十目兵庫が南部氏側に加担し大館城は南部氏の所有となる
	天正18年	1590：秋田(安東)実季が比内の地と大館城を奪還。浅利頼平が比内に帰還
	文禄3年	1594：浅利氏と安東(秋田)氏の抗争が始まる
	慶長3年	1598：浅利頼平が大坂で急死。比内地方再び秋田氏の手に落ちる
III 佐竹氏の時代	慶長7年	1602：佐竹義宣が出羽国秋田へ国替えを命じられる
	慶長13年	1608：佐竹氏一門の小場義成、大館城に入城
	慶長15年	1610：小場義成が大館城代となり城の改修と最初の町割に着手
	元和元年	1615：一国一城令が出されるが大館城は横手城とともに存続が認められる
	寛永17年	1640：大火により城と城下町が焼失
	万治元年	1658：小場義房「佐竹」姓を許される
	延宝3年	1675：大火により城と城下町が焼失。二度目の町割を実施
	天明3年	1783：天明の大飢饉により、大被害を受ける
	寛政5年頃	1793年頃：成章書院・博文書院が開かれる
	慶応4年	1868：戊辰戦争により大館城焼失

大館城跡の発掘調査は、大館市本庁舎建設工事と周辺の付属施設の整備に伴うものです。本丸～外堀の一部を平成 28～令和 5 年度にかけて発掘調査を実施する予定で、令和 3 年度までで 4,027 m²の面積の発掘調査を行っております。

今回の調査区は大館市旧庁舎および駐車場部分にあたり、かつては外堀および土居、本丸の防衛・攻撃の拠点となる「馬出」とそれに伴う堀跡、また「千手院」(のちに郷校「博文書院」)と呼ばれる寺院が位置していたことが享保年間に作られた絵図から確認できます。令和 4 年度は、この大きく 3 つのエリアに区分できる場所の発掘調査(対象面積 2,302 m²のうち 1,114 m²を調査)を実施しました(①)。

【享保 13 年(1728 年)大館城下絵図】



外堀部分の調査では、東西方向に走る外堀が途中で途切れていたことが判明しました。この途切れている部分は絵図との対比から、かつて大館城の城門および外部と城内を繋ぐ道が存在していたことが推測されます(②)。また堀跡に直行するように南北にのびる 7 基の柱穴列が確認できたことから、これらの柱穴列は城門に併設された堀もし

大館城跡は、大館市街地の中心部、米代の支流である長木川の左岸の大館段丘北縁に位置する中世～江戸時代の城跡です。大館段丘は南側を米代川、北側を長木川に挟まれた、西向き巨大な舌状の段丘で城跡部分の標高は 69～71m です。

大館城は、16 世紀後半に浅利勝頼が築城したといわれ、浅利氏滅亡後は秋田(安東)氏の支配下に置かれました。その後、佐竹氏の出羽国への国替えの際、慶長 15 年(1610)に佐竹氏一門の小場義成が大館城代に任命されました。義成は、大館城の改修・拡張や町割を行いました。慶応 4 年(1868)の戊辰戦争により南部藩の攻撃を受け落城しました。その後、本丸部分は桂城公園として整備され今日に至ります(表 1)。



外堀内から出土した遺物の中で特に特徴的なものとして梵字が書かれた木簡があげられます(③)。この木簡は厚さ 1 mm 程度のごく薄い板材を用いており、現存部の長さは 46 cm、幅は 9.6 cm です。また梵字が記載されている特徴から、付近に位置していた千手院との関連が窺われ、当時の風俗・宗教を考察するうえで非常に重要な遺物であるといえます。



馬出部分の調査では、検出面より深さ 2m15cm・最大幅 2m97cm を測る堀跡が確認されました。大館城の馬出は、方形に区画されており、その周囲を土塁と堀で囲うように設けられていたことが絵図から読み取ることができます。残念ながら土塁はすでに削平されており調査では確認できませんでしたが、前述の堀の一部が良好に残っていました。この堀の北側縁(本丸側)からは横倒しになった木柵が検出されています(④)。馬出は城の虎口(正面入口)の防御の要となる場所であることから、より防御性を高めるために木柵を設けたことが考えられます。



千手院があった部分では、主だった遺構として、掘立柱建物跡 2 棟、柱穴列 7 基、井戸 7 基が確認されました。その中で注目すべき遺構として、鑿が埋納された柱穴が確認されたことが挙げられます。なぜ柱穴内に鑿を埋納したのかは現時点では不明ですが、なんらかの祭祀的な意味合いを持つことが考えられます。また今回、7 基確認された井戸ですが、大きく 2 つの構造を持つものに大別できます。一つは井戸枠を構築したのちに桶を埋設するタイプ。もう一つは井戸枠を持たず桶のみを埋設して井戸を構築するタイプです。この違いは構築時期の違いと見られ、千手院が廃寺となったのちの寛政 5 年(1793)頃、博文書院と呼ばれる郷校へ移り変わっていることから、長きにわたって土地利用がなされたことに起因すると考えられます。

今年度の調査では多くの新たな発見がありました。これらの発見は、これまでの文献資料では知りえなかった重要な発見です。来年度で大館城の発掘調査は終了する予定ですが、調査を通してより具体的な大館城の構造・特徴や当時の人々の生活が明らかになることが期待されます。

大館城堀・土塁周辺修景整備計画について

(1) 基本方針

『歴史と未来が交差する水と緑の城址公園』



使い方を想定したゾーニング整備方針図

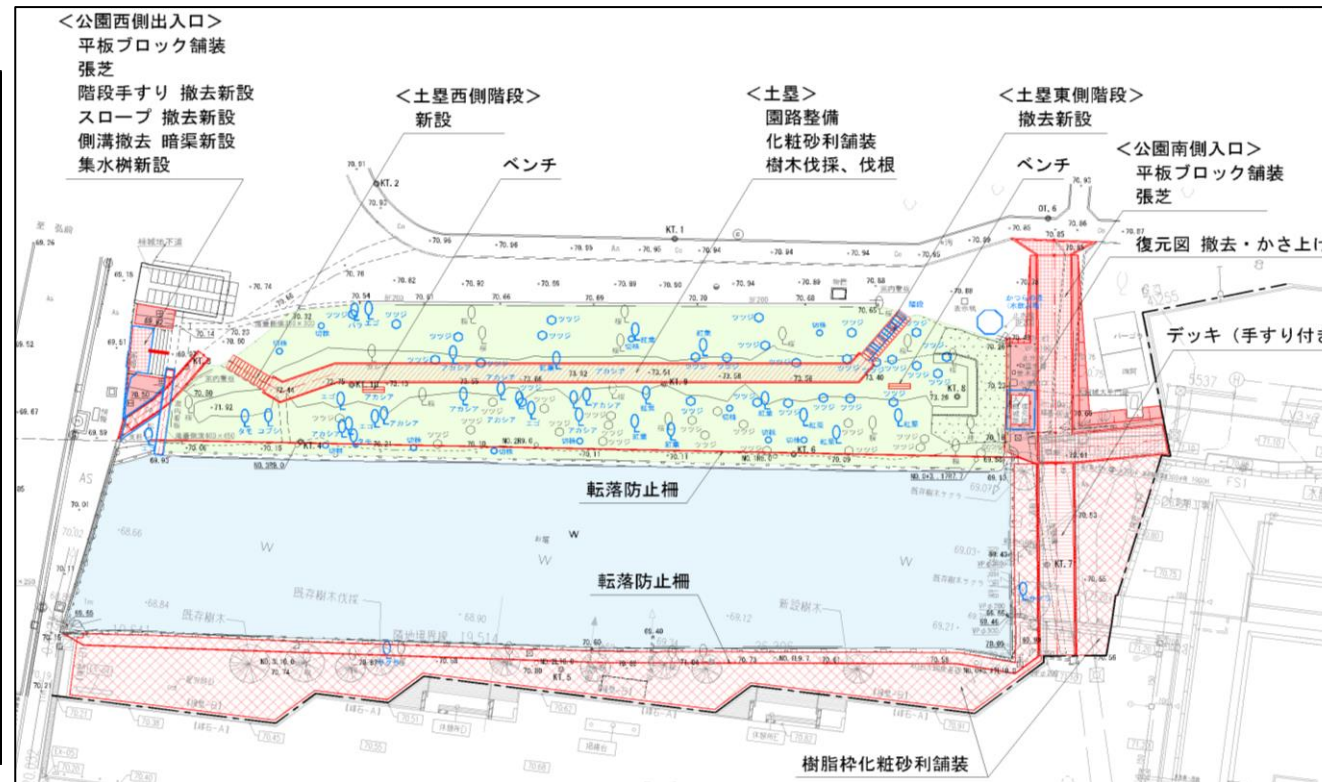
(2) 整備ポイント

- ① 庁舎や桜櫓館と一体的な活用
- ② 城址公園を意識できる仕掛け
- ③ まち歩きの拠点づくり
- ④ 城門跡を意識した出入口の創出
- ⑤ 親水性を確保した堀・土塁の修景
- ⑥ 北側への眺望（視点場）の確保



大館城本丸跡修景整備（鳥瞰図）

(3) 堀・土塁周辺部の修景計画図



(4) 大手門跡の出入り口（木橋イメージ）



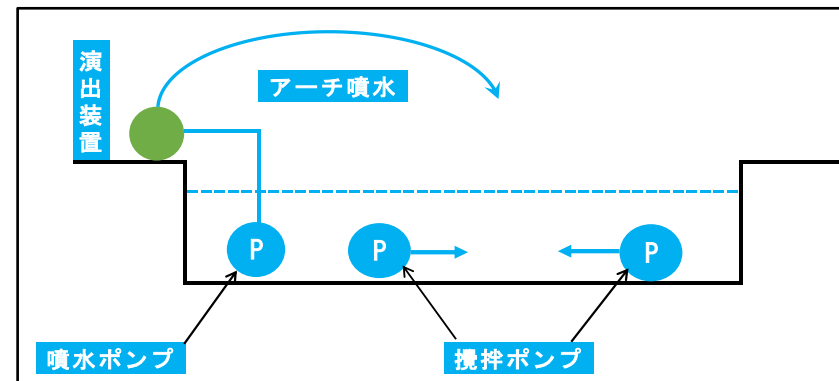
手前は、堀にかかる木橋
奥は、大館城本丸跡に建つ大館男子尋常小学校
(大正14年撮影)



大手門跡につながる木橋を架設し、
かつての堀を渡し、大館城本丸跡に
入城するイメージを創出

(5) 堀のせせらぎの再生 (水中ポンプ循環+噴水ばっ気方式)

水中に設置したポンプで池の水を攪拌し淀みを無くすことにより水質の維持を目指します。
また、歴史ある公園の美観を保つために枝垂桜が躍るような噴水の演出。夜は季節に応じて色の変化を調整することにより空間を創出します。

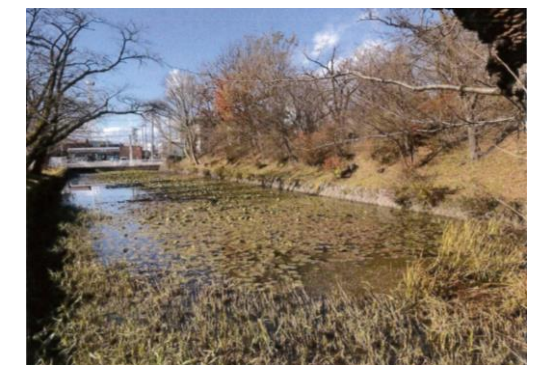


システム図

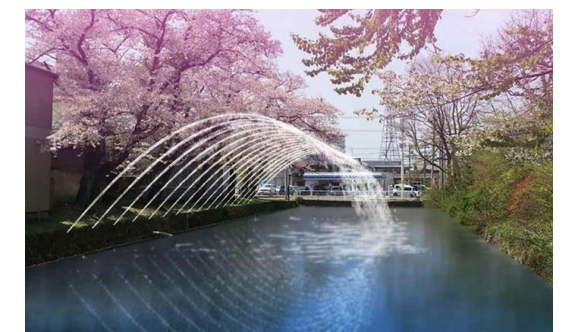
(6) 整備スケジュール（案） (関連事業含む)

平成28年度	市民プール解体
令和元年度	市民体育館・武道館解体 新庁舎建設・外構第Ⅰ期工事
令和2年度	桜櫓館耐震改修
令和3年度	新庁舎開庁
令和4年度	修景整備基本計画策定 堀・土塁修景整備実施設計 シロヤナギ・ハチ公銅像周辺修景整備
令和5年度	庁舎外構第Ⅱ期工事（～令和6年度） 土塁修景整備
令和6年度	旧庁舎前市道整備 堀の水循環構築、木橋架設 野外ステージ等解体実施設計 ※旧庁舎跡に大型駐車場が完成し、 庁舎北側の臨時駐車場が不要となった時点で、公園区域を拡大
令和7年度	野外ステージ等解体工事 シンボルロード修景整備 本丸跡平面しつらえ修景整備 東屋、イベント広場修景整備
令和8年度	芝生広場の拡大修景整備 公園東側トイレ増設 屋外照明灯等電気設備

※国予算配分により、スケジュールに変更が生じる可能性があります



堀・土塁（現状）



イメージ図

景観計画の策定について

1. 策定の目的

- (1) 時間軸を感じる地域固有の風景や、歴史・伝統・文化の営みを醸し出す風土を守り育て、まちの魅力を高める。
- (2) 地域住民と一緒に景観づくりに取り組み、景観に関する意識を高め誇りと愛着が持てるまちづくりを継続する。
- (3) 歴史的風致維持向上計画やバリアフリー基本構想などの関連計画と、連携を図り、重点区域外の比内・田代地域でまちづくりを推進する。

2. 策定により期待される効果

歴史的風致維持向上計画において、これまで取り組んできた景観保全・形成に関する事業について、景観形成の基準を設けることにより、大館らしさを出す統一的な都市空間が形成される一方、地域の魅力の個性化が実現できる。

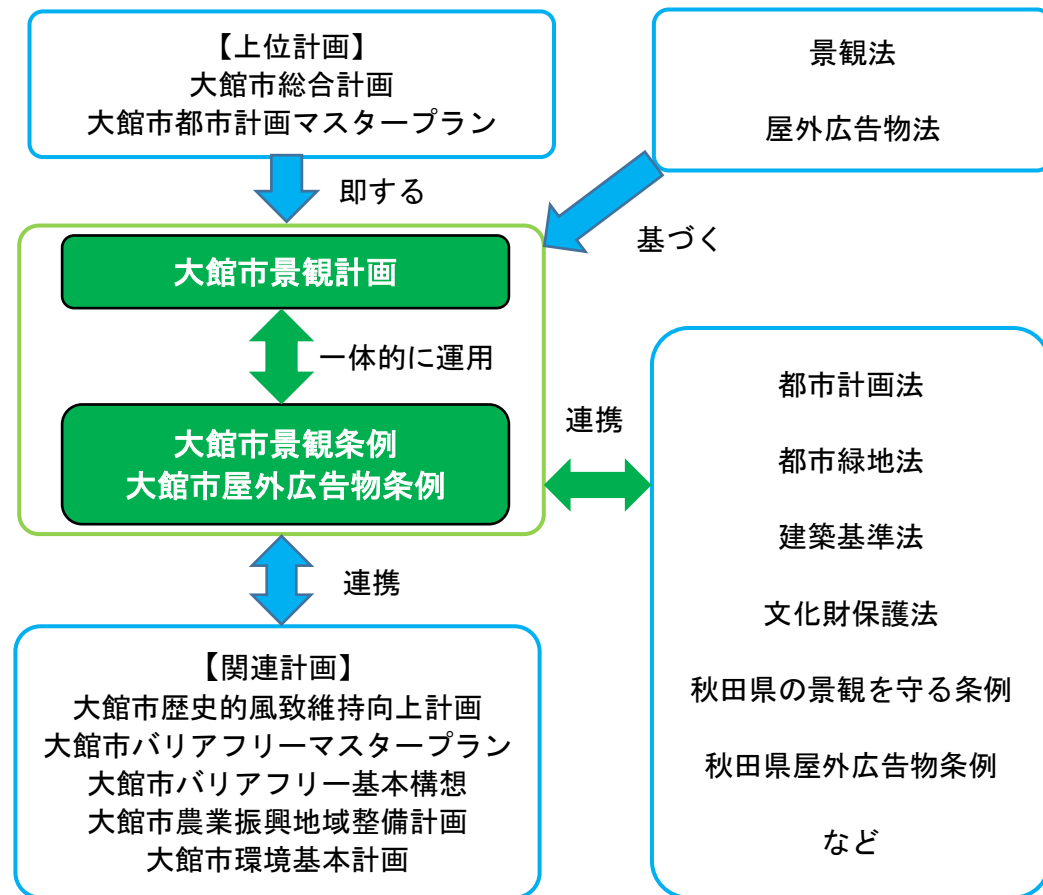


左：鳳凰山遠望 (田村 まさよし氏)



右：秋田犬会館と桂城橋 (水彩画)

3. 景観計画の位置づけ



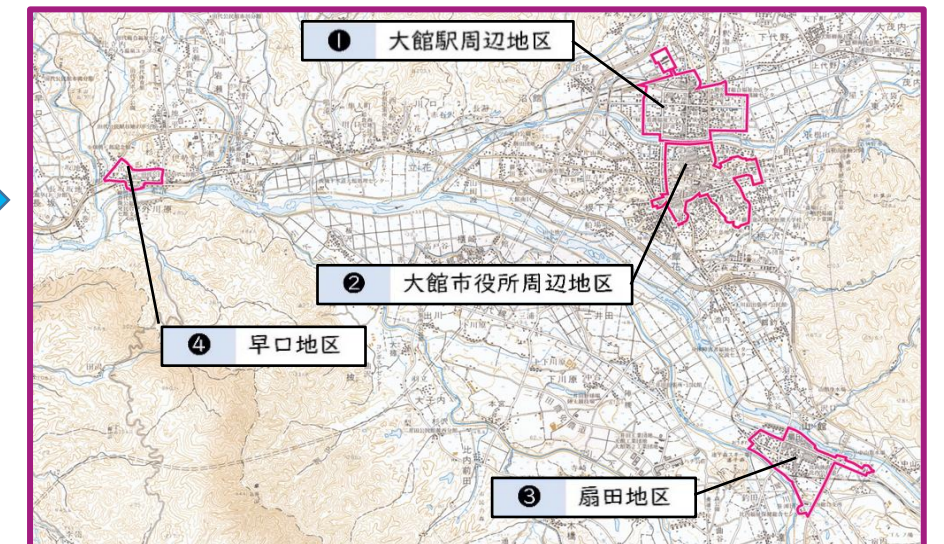
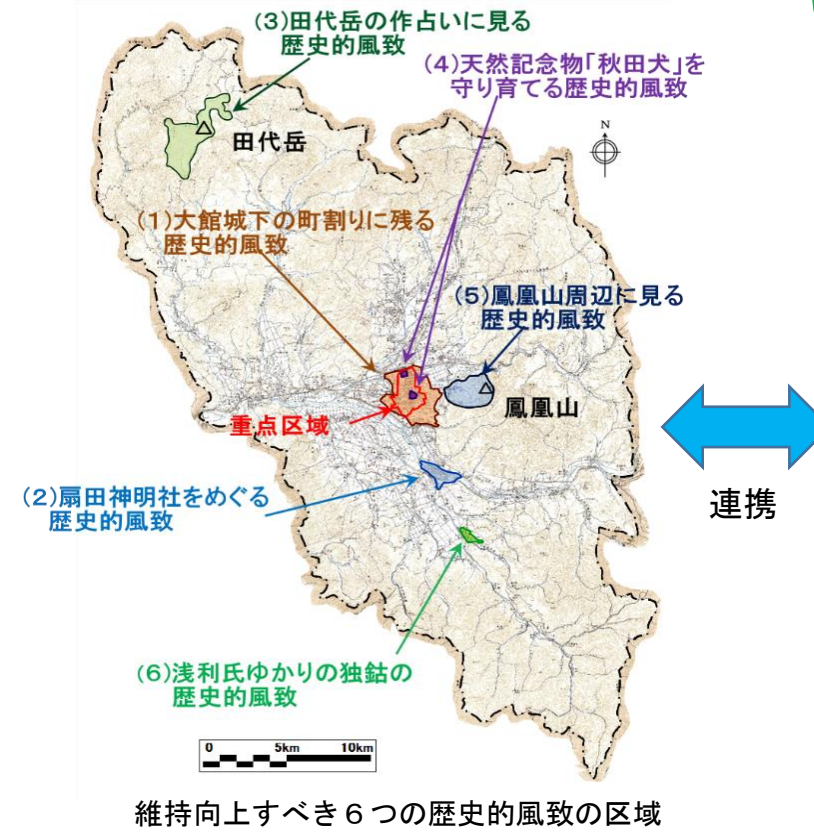
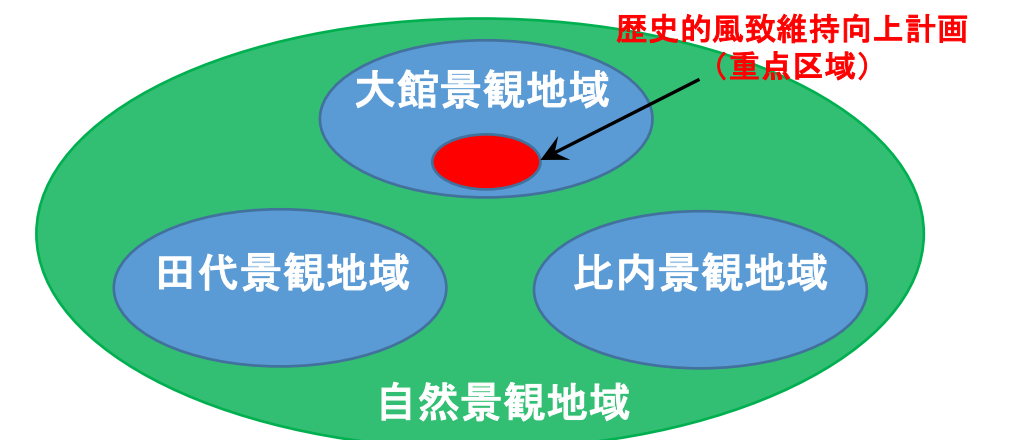
4. 策定スケジュール (案)

年度	主な内容
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画庁内検討委員会の設立 ・景観計画策定協議会の設立 ・市民アンケートの実施 ・第1～2回庁内検討委員会・策定協議会 ・ワークショップの開催
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第3～4回庁内検討委員会・策定協議会 ・パブリックコメントの実施 ・第5回庁内検討委員会・策定協議会 ・大館市都市計画審議会 ・景観行政団体へ移行 ・景観計画策定
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大館市景観条例の制定 ・大館市景観条例の施行

5. 景観計画の主な構成

項目	主な内容
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画策定の背景等 ・景観計画区域【必須】
景観の特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画区域における景観の特徴・課題
景観形成の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成の基本理念・目標・方針
届出等に基づく景観形成等	<ul style="list-style-type: none"> ・行為の制限に関する事項【必須】 ・景観形成基準に関する事項【必須】 ・屋外広告物について
届出等以外の景観形成に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要建造物や景観重要樹木の指定【必須】 ・景観重要公共施設の整備に関する事項 ・景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的な事項
景観形成の推進方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく制度の活用の方え方 ・計画の進行管理の方え方

6. 景観計画区域 (大館市全域) の設定イメージ



バリアフリーマスタープラン (移動等円滑化促進地区)